

第4回北東白石地区 七夕の集い（白石区）

子どもからお年寄りまで世代間交流を深め、地域の一体感を高める機会を創出し、地域における人情と連帯にあふれたコミュニティ形成に資することを目的に行われている。

4回目の開催となる今回からは、地域のさまざまな団体が連携した「まちづくり協議会」である「北東白石まちづくり委員会」（平成16年12月に設立）が主催。

日 時 平成17年8月7日（日）午後1時～4時
場 所 東川下小学校体育館（白石区川下4条3丁目）
参加者 約600人

地域住民（小学生、幼児、保護者など）

主 催

北東白石まちづくり委員会（世代間交流委員会、北東白石連合町内会、北東白石地区民生児童委員協議会、北東白石地区社会福祉協議会、北東白石地区福祉のまち推進センター、北東白石地区青少年育成委員会、北東白石体育振興会、北東白石地区交通安全実践会、日赤奉仕団北東白石分団、北都商店街振興組合、北都明生会、東川下老人クラブ、川北老人クラブ、川下老人クラブ、北東白石地区子ども会連絡協議会） 協力：東川下小学校・PTA

内 容

会場では、七夕飾り、昔遊びなどを楽しむコーナーや、仮装して踊りながら風船でいろいろな動物を作って見せるバルーンアート、ヨーヨーなどの出し物などがあり、来場者には柳の小枝と記念品をプレゼントする。

また、今年からは、地元の小学校・PTAが協力に加わり、PTAや子どもたちが会場の飾りを制作するなど、準備段階から三世代の交流を広げている。

【問い合わせ先：北東白石まちづくりセンター 富田所長 875-3077】

みその子ども夏まつり（豊平区）

「子どもたちによる、子どもたちのための、子どもまつり」として、今年から開催される夏まつり。まつりの主人公である子どもが純粋に楽しめる出し物や出店がたくさん並ぶのが特徴。会場の草刈や整地から当日の運営まで、まつりの準備は、まちづくりセンターが中心となり、すべて地元の有志の力で行う「手作りの夏まつり」で、子どもたちに「夏休みの思い出」と「ふるさととの出会い」をプレゼントする。

日 時 平成17年7月25日（月）～27日（水）午後1時～4時
場 所 美園まちづくりセンター（美園会館）裏
（豊平区美園6条5丁目 雨天時：美園会館）

参加者 約1,000人（3日間の延べ人数）
地域の小中学生、子育てサークル、子ども会会員等

主 催

美園まちづくり協議会（美園地区町内会連合会、美園商店街振興組合、美園地区子ども会、美園地区青少年育成委員会、福祉系ボランティア団体「グリーンアップル」、美園地区福祉のまち推進センター「黄色いりんご」）

協力：札幌電気工事業協同組合青年部、学生ボランティアサークル「P-connection」

内 容

「子どもが主役」の夏まつりを目指し、子どもたちが楽しめるためのアトラクションや出店が盛りだくさんである。

主なアトラクション

北海若衆太鼓、水遊び、ストラックアウト、バルーンアート、福引き、スーパーボールすくい、ダーツ、ダンボール積みゲーム等

主な出店

札幌カステラ、長沼アイスクリーム、おでん、綿あめ、駄菓子、産直野菜市場等

【問い合わせ先：美園まちづくりセンター 赤谷所長 811-4119】

美泉定山生誕 200 年および定山源泉公園オープニング記念式典（南区）

今年、定山溪温泉を拓いた美泉定山（みいずみじょうざん）の生誕 200 年の年。これを記念し、地域の新たなシンボルゾーンとして整備した「定山源泉公園」の完成を祝して、記念式典を行う。（恒例の「第 41 回定山溪かっぱまつり」（8 月 5 日～10 日）の 1 行事）

この公園は、多くの人々がそぞろ歩きたくなるような魅力にあふれた、定山溪の新たな顔をつくるため、定山溪観光協会が経費を負担したもので、定山溪に湧出する天然の温泉と周囲の豊かな森林に自生する山野草の風景を表現したものとなっている。

日 時 平成 17 年 8 月 7 日（日）正午～午後 1 時

場 所 定山源泉公園（南区定山溪温泉東 3 丁目 月見橋たもと）

参加者 約 150 人

地域住民、関係の観光業者、企業、行政機関、岡山県吉井町（定山出身地）関係者等

主 催

社団法人定山溪観光協会、定山溪連合町内会

内 容

記念式典では、主催者等あいさつ、感謝状贈呈、テープカットに引き続き、地元小中学生等有志による定山溪太鼓の披露や関係者による足湯入湯などが行われる。（雨天決行）

この地域では、観光協会や連合町内会、各種団体をはじめ、一般公募による地域住民、まちづくりセンター等市関係者などが参加して、平成 15 年に「定山溪温泉まちづくり委員会」を組織し、ワークショップなどを開催しながら、定山溪温泉のまちづくり全般について検討を行ってきた。今回のシンボルゾーンの整備と記念式典の開催についても、同委員会が策定した「温泉観光地活性化モデル事業」のアクションプログラムの中で、主要事業として位置付けているものである。

【問い合わせ先：定山溪まちづくりセンター 坂本所長 598-2191】

第 8 回澄川地区自主防災総合訓練（南区）

澄川地区では「安全・安心のまちづくり」を主題として、「防災は地域が主体に行う」「住民が参画する」「長く続ける」を 3 原則として自主防災活動に取り組んでおり、自主防災訓練は今年で 8 回目の実施。

これまでの活動が認められ、平成 16 年 1 月には、消防庁の「防災まちづくり大賞」を受賞し、同年 7 月には同庁の「安心・安全ステーション整備」モデル事業にも指定されるなど、訓練内容も実戦的かつレベルの高いものとなっている。

日 時 平成 17 年 7 月 23 日（土）午前 9 時 45 分～正午

場 所 澄川西小学校・あじさい公園（南区澄川 2 条 5 丁目）

参加者 約 600 人

地区連合会役員、13 単位町内会、南消防署、澄川地区消防団、澄川中学校生徒（170 人）が参加。

主 催

澄川地区連合会

内 容

訓練項目も実戦的なものとなっており、避難訓練・負傷者の担架搬送訓練から始まり、機材搬送、レサシアン（訓練用ダミー人形）・AED（自動体外式除細動器）を使用した心肺蘇生訓練、エンジンカッター・チェーンソー・レスキューツール等を使用した機材操作訓練、また、バケツリレーや消防ポンプ操作訓練など、盛りだくさんな内容となっている。

澄川地区では、平成元年に地域で活動開始した暴力団（山口組系）を暴力追放運動で一丸となって排除したのを節目に、親睦を旨とする町内会から「安全・安心のまちづくり」にシフト。「災害が起きたときに、地域で増える在宅の要介護者を一体誰が助けるのか」という思いが、平成 10 年には、全町内会に自主防災組織を、また、連合会にも同組織と常設の対策本部（澄川地区センター内）を設置する動きにつながった。

地区には、一般的な防災用品のほか、MCA (Multi Channel Access) 無線機 18 台・組立式簡易水槽・折りたたみリヤカー・ジャッキ・エンジンチェーンソー・エンジンカッター・発電機・ハロゲン投光機・消防ポンプ・消防ホース等数々の資機材を整備し、3 小学校区ごとに配置している。

また、地区連合会では、今年、防災訓練や運動会など各種事業の実施にあたり、参加者や来場者の救命処置に役立てるため、AEDを購入した。

【問い合わせ先：澄川まちづくりセンター 武田所長 821-8585】

芸術の森地区青少年国際交流事業（南区）

市民主体の姉妹都市交流事業により来札するポートランド市中学生 15 人（引率 9 人）と、芸術の森地区の小中学生など地域コミュニティとの芸術文化を通じた国際交流事業を実施することにより、地域内青少年の国際感覚の醸成や地域ボランティア組織の育成、さらには国際都市さっぽろを支える芸術文化ゾーンである芸術の森地区の創造に資する。

日 時 平成 17 年 8 月 13 日（土）午前 10 時～午後 8 時 30 分

場 所 芸術の森、常盤中学校（常盤 2 条 2 丁目）常盤公園ほか

参加者

芸術の森地区住民、学校関係者、南区役所関係職員等 約 300 人

主 催

芸術の森地区町内会連合会、常盤中学校区青少年健全育成推進会、芸術の森地区まちづくりセンター

内 容

芸術の森（クラフト工房）での体験学習や歓迎昼食会の後、常盤中学校で書道体験や、常盤児童会館で地域の子もたちと交流を行い、常盤公園で盆踊り・縁日等に参加（浴衣着付け含む）する予定。

平成 16 年 8 月、札幌・ポートランド姉妹都市 45 周年を記念した国際親善ジュニアスポーツ交流事業において、札幌市の女子中学生ソフトボールチーム 15 人（うち常盤中学校 3 人）がポートランド市に派遣され、活発な交流試合等が行われた。これを契機に、今年、ポートランド市から、同市の女子中学生ソフトボールチームを札幌に派遣したい旨の申し出があり、昨年派遣された選手の母親たちが中心となって、8 月 8 日から 16 日までの 9 日間、市民レベルで姉妹都市交流事業を行うこととした。（9 日～12 日は美香保球場でソフトボール交流試合）

母親たちが、滞在費用等を賄うため、寄付金集め等の活動を行うとともに、地元の連合町内会も、さまざまな日本文化の体験や盆踊りへの参加など、地域とのふれあいを大切にしながら、来札の良い思い出づくりになるような交流事業を企画したところである。

なお、当該町内会では、地域内から英語通訳や野立て・琴の演奏等を行うボランティアを募集するなど、あくまで地域ぐるみの「おもてなし」を行うこととしており、これを契機として、将来的には、芸術の森を訪れる方々へのさまざまなホスピタリティを提供する地域ボランティア組織の結成に結び付けたいと考えている。

【問い合わせ先：芸術の森地区まちづくりセンター 石川所長 592-7009】